

令和6年度 地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業 群馬県の事例（2020年度～）

<現状及び課題>

- 令和5年度の高校中途退学者数は786人、中途退学率は1.6%である。
- 中学校卒業後の無業者数は、令和6年3月卒業生16,831人のうち、198人いる。（令和6年5月1日現在）

<取組内容及び実施方法>

【実施体制の整備】

- 公益財団法人群馬県青少年育成事業団に事業を委託し、学習相談・学習支援を実施。
- 同財団に不登校、ひきこもり対策等を目的とした体験活動支援「G-SKYPlan」（県事業）を委託し、再学習支援の「ステップアップ」と「G-SKYPlan」を両輪とした青少年の自立支援を推進。
- 県事業として業務運営委員会を設置し、具体的方策の検討を行い、児童相談所、ひきこもり支援センター、就労支援機関等と連携して実施体制を整備。

【学習相談・学習支援の実施】

- 週5日の電話や面談等にて、勉強方法に関する助言及び高卒認定試験の紹介、教育機関や修学のための経済的支援の紹介、学びに関する総合的な学習相談の実施。
- 年間60回程度、学習支援員を配置した上で、高校中退者等の高卒資格取得に向けた学習支援を実施。

【広報等の取組】

- 中学校卒業後進路未決定者も本事業の対象とし、各市町村における校長会での広報活動を通じて学校現場等への周知を実施。
- 県内全高校、市町村教育委員会、保健福祉事務所等、関係機関に事業チラシを配布するとともに、群馬県HP、事業委託団体HPにて事業を周知するための動画を公開し、広報を推進。

<取組の成果>

- 学習相談で延べ243名、学習支援（学習会）で延べ73名の利用
- 学習会参加者のうち3名が高等学校卒業認定試験を受験し、1名が全科目、2名が一部科目合格

<今後の取組>

- 体験活動支援の「G-SKYPlan」と再学習支援の「ステップアップ」（どちらも県委託事業）が青少年の自立支援事業の要となっていることから、両事業の強みを生かしつつ連携を強化するとともに、情報交換を密にすることで事業の充実を図る。
- 利用者に寄り添った学習相談のあり方、相談における携帯端末の活用、効果的な学習支援の方法の検討、実施を目指す。
- 児童相談所、ひきこもり支援センター、地域若者サポートステーション等の就労支援機関等と連携するとともに、地域資源との連携体制の強化を図る。

令和6年度 地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業 群馬県の事例 (2020年度～)

<実施体制のイメージ図>

【群馬県】地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業 事業体制イメージ

事業概要

■ 高校中退者等を対象に、地域資源を活用しながら高等学校卒業程度の学力を身に付けさせるための学習相談及び学習支援を実施する。



**高校中退者
若年無業者 等**



高卒認定を受けたい

就職の道を広げたい

通信制高校等について知りたい

申込
相談

群馬県青少年会館 (公財) 群馬県青少年育成事業団

群馬県教育委員会

業務運営委員会の実施

以下の内容を検討

- ・高卒資格取得に向けて学習相談・学習支援に関する具体的方策
- ・高校中退者等の対応のための具体的な方策
- ・関係機関との具体的な連携方策 等

検討

ステップアップ支援促進事業

学習相談

学習支援



学習相談員



・高卒認定試験科目を中心とした個別支援

- ・勉強方法に関する助言
- ・高卒認定試験の紹介
- ・その他 学習に関する相談

移行

再学習希望

学校復帰

就労希望

青少年自立・再学習支援

G-SKY Plan

体験活動に関する支援

- ・体験先で多くの人との交流
- ・やればできるという自信
- ・規則正しい生活リズムの確立 等



群馬県子ども・若者支援協議会

高校中退者等支援の実施

- 退学時に協議会による支援希望の有無を確認
- 「支援に関する同意書」の提出

紹介



関係機関

地域資源との連携

総合教育センター・児童相談所
ひきこもり支援センター 等

紹介

高卒認定合格

通信制・定時制高校合格

大学へ進学

就職

若者の社会的自立

就労支援機関

地域資源との連携

サポステ・ジョブカフェ
職業訓練機関 等

